

株式会社FuturedMe

1. 会社状況

(本社)所在地	東京都中央区日本橋本町2-3-11	代表者名	宮本 悦子
電話/FAX番号	090-6714-1950	URL	https://futuredme.com/jp/
設立年月	2018年6月	資本金(百万円)	100百万円
売上高(百万円)		従業員(名)	7名
事業内容	医薬品の研究、開発、製造、販売など		
主要製品	医薬品、CANDDYプラットフォーム		
東葛テクノプラザ 連絡先	役職名	代表取締役CEO	氏名 宮本悦子
	E-mail	etsuko.miyamoto-sato@futuredme.com	電話番号 080-1102-8505
		入居室	501号室

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

未来の個別化医療(ゲノム医療)に貢献するために、代表者が東京理科大学で発明した革新的な分解創薬技術CANDDYを活用し、これまで薬のなかったアンドラッグブルターゲットに自社創薬を展開し、CANDDYの強い知財を用いて、製薬企業などの抱える創薬に関する問題を解決するために、CANDDYプラットフォームによる、ライセンスアグリメントや共同研究マイルストーン契約などを展開していく。自社創薬では、がんセンターと隣接した環境を活用して、積極的に創薬を推進していく。

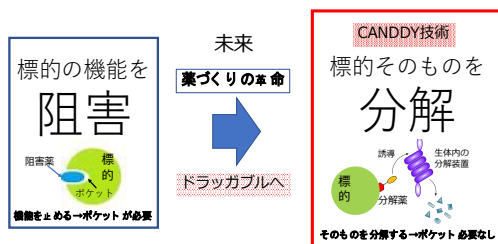
FuturedMeとは、未来(Future)の薬(drug=degrader)を一人ひとりに(Me)という意味。未来医療(プレジジョンメディシン)において、個と多様な人々の病気を予防及び治療するために、創薬のゲームチェンジャーである新しい技術CANDDYで、病気の原因であるタンパク質(標的)を化合物で分解し(ケミカルノックダウン)、病気を治療する。No patients without medicine. 薬がなくて、治療をあきらめる患者さんがいない未来を目指す。

3. コア技術(保有技術等)

CANDDY技術は、日本発のオリジナル技術であり、これまでの薬の創り方を根底から変える。タンパク質の機能を「阻害」するために、薬の設計にタンパク質にポケット構造が必要で創薬は困難であったが、タンパク質を「分解」する場合、必ずしもそのような構造がいらなくなり、原理的に、100%の標的に薬(分解薬)がつくれる可能性がある(ターゲットーム創薬)。

CANDDYは、ユビキチン化に依存する分解技術の問題点を解決した次世代型の分解技術であり、化合物で標的を直接、生体分解装置(プロテアソーム)に誘導分解するため、より単純で汎用的な技術である。

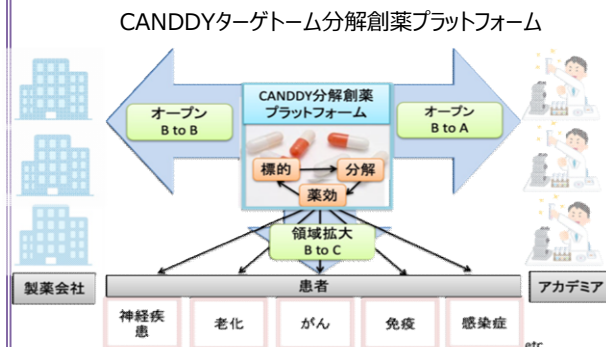
CANDDY技術：薬創りのアプローチを変える



25%の標的にしか薬が創れない ❌ ➡ 100%の標的に薬が創れる夢の万能技術 Ⓞ

4. 事業展開

FuturedMeは、2つのビジネスモデルを持つ。一つは、自社創薬事業で、インハウスでアンドラッグブルターゲットのファーストイン創薬を目指している。早期のファーストインヒューマン実現のために、隣接するがんセンターと連携していくことを目指している。もう一つは、プラットフォーム事業で、未来医療のために、さまざまな標的に対して薬を揃えていくことが可能な「CANDDYターゲットーム分解創薬プラットフォーム」を戦略的に創り上げ、世界中の企業やアカデミアと協力して、薬づくりを推進して行く体制を目指していく。



特記事項

【認定・受賞】

2020 年:Forbse Japan 2020 TOP 200 に選出
2021 年:内閣府「女性のチャレンジ賞」受賞(女性起業家への賞)